

令和4年度 第3回 都田中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年2月7日（火） 13時30分から15時00分まで
- 2 開催場所 都田中学校 被服室
- 3 出席委員 佐藤 元久、小林 宗吉、吉田 恵子、下村 優子、村松 保邦、
下原 直美、高須 里美
- 4 欠席委員 山下 峰與、神間 郁子、木村 佐枝子
- 5 オブザーバー 谷野 弘勝（協働センター所長）
- 6 学 校 服部 裕一（校長）、今田 和幸（教頭）、鈴木 貞良（教諭）
佐藤 奈帆（CS ディレクター）
- 7 教育委員会 小川 誠司（教育総務課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CS ディレクター 佐藤 奈帆
- 10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、下村委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- （1）令和4年度の教育活動についての評価
- （2）令和5年度の学校運営方針
- （3）学校運営協議会の自己評価

12 会議記録

司会の村松委員から、委員総数10人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）令和4年度の教育活動についての評価

議長の指示により、中学校から別紙資料に基づき令和4年度の教育活動についての評価について説明があり、委員から以下の発言があった。

- ・とても良い資料なので、事前に配布していただき、目を通してから会議に参加したい。内容は興味深く、自分達が知らない子ども達の面が見え、素晴らしい。（村松委員）
- ・子ども達は行事に対して充実し、楽しいと感じている。コロナが終息し、色々なことが以前のように出来るようになるといい。（下村委員）
- ・2年生の自己肯定感の低さが見受けられるが、3年生になると自己肯定感が上がっており、安心した。2年生は見守りの時期なのでは。（高須委員）
- ・3年生の評価の変化を見ると、学校の雰囲気や先生方の励ましのおかげで成長していると思う。体育大会や天白祭での活躍を見て、生徒が主役というスローガンがよく伝わってきた。（吉田委員）

- ・都田中と他地区の学校との比較を見てみたい。内面的な評価の指標もあればいいと感じた。(村松委員)
- ・このようなアンケートは難しく、良い評価と悪い評価の比率が同じ箇所が気になる。理由をもう少し分析した方が良い。(佐藤委員)
- ・学校での様子を保護者の立場として答えるのは難しい。子供を通してしか分からないこともあるので、回答に困る質問があった。(下村委員)
- ・生徒、保護者、職員間の比較なのか、学年での比較なのか、どこを重点にするかが重要だと感じた。保護者が学校のことを詳しく知らないということは分かった。(下原委員)

(2) 令和5年度の学校運営方針

議長長の指示により、校長から、別紙資料に基づき令和5年度の学校運営方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・子ども達は発達支援学級に対して偏見を持っていないのでは。大人や親が偏見を持っている場合があり、それを前提として大人が話をしていることがある。保護者にも発達支援学級を理解してもらうことが必要。(下村委員)
- ・発達支援学級は子どもにとって良いところだということを理解して欲しい。(学校)
- ・他の学校に入級するとなると負担が大きいが、都田中には通常級と同じ場所、同じ時間で手厚い支援が受けられる5組があり、ありがたい。(下原委員)
- ・最終目標は、子ども達を自立させることである。(学校)

(3) 学校運営協議会の自己評価

- ・コロナ禍以前の学校運営が出来ようになることを期待している。部活動の今後の在り方については、生徒の希望を聞きながら柔軟な対応が出来た。地域移行についての国や教育委員会の動向が知りたい。自転車事故のデータの蓄積は大事。事故現場を実際に写真等で見て危険箇所のチェックをし、対策が必要。(佐藤委員)
- ・校長先生人情深く頼もしい。今後もよろしくお願ひしたい。(小林委員)
- ・色々なことを学ばせてもらった。自転車通学が多いので、交通安全は大切。来年度も目標に位置付けて継続してほしい。(下原委員)
- ・部活動についての熟議によって、現状を知ることが出来た。学校運営協議会の内容を知ること、学校側の理解と、都田中の目標や重点項目について理解を深めることが出来た。下村さんの働きにより、学校と地域が繋がり、自分も協力出来た。(吉田委員)
- ・今後も自転車通学の見守りをしていきたい。下村さんのおかげで、みかん収穫体験や職場体験など、地域で貴重な体験をさせることが出来た。部活動のクラブ化として地域の指導者を入れる場合、子ども達が困らない環境を学校側が作って欲しい。(高須委員)
- ・最初に資料の説明があり、熟議する内容が明確に示されたことで、この協議会の在り方と必要性を確認することが出来た。部活動や自転車事故について、近隣学校や地域との協力が必要。部活動の地域移行に関して、保護者や地域の方への働きかけ、人材の掘り起こしを進める必要がある。(村松委員)

- ・学校側から詳しく説明があり、お互いに意見交換しながら理解を深めることが出来た。今年度は熟議するにあたり、学校行事や授業参観、学年主任の先生方からの話を聞く場が増え、生徒の様子が良く分かった。自転車事故については地域と継続して取り組んでいきたい。部活動については多方面から意見を聞いて進めていく必要がある。(下村委員)
- ・はたちの集いでは、地域の支えがあって今の自分達があるという言葉が出てきている。子ども達には、親達が自分達のことを考えながら活動してくれていることが伝わっている。(オブザーバー 谷野)

その他連絡事項

- ・下村委員より、2月25日に開催する自転車安全講座へのボランティア募集の報告があった。
- ・学校より、次年度の会議については決定し次第お知らせする旨の報告があった。